

## ◎ 静嘉堂文庫美術館 館長：河野元昭(67・文) 以下ホームページより転載

江戸のエナジー 風俗画と浮世絵 The Energy of Edo Genre painting and ukiyo-e 日本博

[会期] 2020年12月19日(土)～2021年2月7日(日)休館日：毎週月曜日、年末年始(12月28日～1月4日)、(ただし1月11日は開館)1月12日は休館。

[開館時間] 午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

[入館料] 一般1,000円、大学生・高校生および障害者手帳をお持ちの方(同伴者1名含む)700円 中学生以下無料 ※20名様以上の団体は200円割引主催：公益財団法人 静嘉堂/後援：世田谷区教育委員会 ちらし(4.57MB) 出品リスト(4.36MB)

浮世絵の「浮世(うきよ)」は、もとは「憂世(うきよ)」と書きました。中世までは、憂(う)いことの多い世の中を悲観する概念でしたが、江戸時代に入りこうした厭世的なものではなく、経済生活を確立しつつあった町人たちによって“はかないこの世を享乐的に生きよう”という庶民のエナジーによって大きく変化し始めます。

絵画においても、日常生活は画題となり、庶民も絵を買い求め、絵師たちは多彩な活動を始めたのです。とりわけ時代を映す鏡のような風俗画や浮世絵の誕生はその最たるものといえるでしょう。

本展では、静嘉堂秘蔵の肉筆浮世絵や浮世絵版画を、多数初公開いたします。特に肉筆浮世絵は、明治末期に海外向けに出版された豪華画集に日本を代表する名品として掲載されたものを多数含みます。また、浮世絵版画も長らく公開の機会に恵まれなかった作品群です。本展では、まずは重要文化財「四条河原遊楽図屏風」や修理後初公開となる英一蝶「朝暾曳馬図」、円山応挙「江口君図」などの静嘉堂を代表する名品をご堪能ください。その上で、この度、新出の浮世絵をたっぷりご覧いただき。近世初期風俗画や浮世絵を成立・展開させた、溢れるばかりの江戸のエナジーは、江戸時代を通じて、江戸・上方を問わず、文化の根底に流れていたことを感じていただければ幸いです。

本展は本年4月11日開幕予定であったものを、会期を変更して再開するものです。(2021年1月19日より一部展示替有)

## 展示構成

序章 英一蝶「朝暾曳馬図」と円山応挙「江口君図」

第一章 近世初期風俗画のエナジー—歌舞伎・遊里・庶民の暮らし

第二章 “錦絵”の誕生と展開—春信・歌麿・北斎・広重・国芳

第三章 東西美人くらべ—肉筆浮世絵の美

[関連イベント] 新型コロナウイルス感染予防及び防止のため、予定を変更・中止する場合がございます。最新の情報を当館のHP等でご確認くださいようお願い申し上げます。ご来館、イベント参加の際はマスクの着用などご協力をお願い申し上げます。

## 1. クリスマスコンサート(100万人のクラシックライブ) (開催済)日

時：12月20日(日) 午後2時～3時(午後1時30分開場)

申込方法：当日、開館時より整理券配布(1名様につき1枚) 定員：50名

## 2. 河野元昭館長のおしゃべりトーク

「美人画もあり！静嘉堂—饒舌館長ベストテン—」を口演す日時：1月11日(月・祝) 午前11時～午後0時半頃

講師：河野元昭(静嘉堂文庫美術館館長) 申込方法：当日、開館時より整理券配布(1名様につき1枚) 定員：50名

## 3. 学芸員によるスライドトーク

「静嘉堂の肉筆浮世絵コレクション」日時：1

月24日(日) 午前11時～午後0時半頃

講師：吉田恵理(静嘉堂文庫美術館学芸員)

## 4. 列品解説(いずれの回も午後2時～2時半頃、スライド解説を予定)

12月19日(土)/2021年1月9日(土) 1月14日(木)/1月28日(木)

## 5. 国際浮世絵学会 第116回研究会日時：

1月17日(日) 午後2時～(午後1時受付開始) 研究発表：「静嘉堂の浮世絵コレクション」発表者：吉田恵理(静嘉堂文庫美術館学芸員) 展覧会見学 午後3時～(自由解放) \*会員の方は受付にて案内状をご提示下さい。

\*一般の方も参加可能、出入自由。一般定員：20名当日

午後1時より整理券配布(1名様につき1枚)

1～5ともに 会場：当館地階講堂 参加無料(ただし、当日の入館料が必要)